

がれき処理で質問

県議会
議案質疑

県議会第一回定例会は六
日、本会議を再開。杉本熊
野（新政みえ、二期、津市
選出）、小野欽市（自民み
らい、一期、同）、中西勇
（みんなの党、同、松阪
市）の三議員が、がれきの
広域処理促進としての七千

四百四十七万七千円を盛り込
んだ一般会計補正予算案に
ついて質疑した。

杉本議員は、住民理解を
得るための方法を質問。鈴
木英敬知事は「しっかり説
明をし、情報公開をし、専
門家の意見を反映させる。
あらゆる手段を講じて住民
理解を得たい」と主張。岡
本道一市長は、
受け入れを表明した市町の



答弁する鈴木知
事（中央）＝県
議会議事堂で

に、岡本局長は
「（震災がれき
は）市町の日常ご
みと混合して焼却
されると思われ
る。現在、それぞ
れの（焼却灰の）
処理先での受け入
れ先と調整をして
いる」と答えた。

住民による現地調査の経費
も盛り込んだと説明した。
また、杉本議員の最終処
分場の確保についての質問

小野議員は、作
業員の安全を守るための線
量計などの購入費に関し、
追加予算が必要と指摘。知
事は、上程している補正予
算案の中で対応できるか検
討するとした。中西議員は
「松阪市だけが進んでいる
気がする」とたがした。知
事は「検討状況は申し上げ
れない部分があり、松阪市
だけが進んでいるように思
われるかもしれないが、そ
れぞれで進んでいる」と反
論した。